参考資料２

令和７年度高齢者相談センター地区地域ケア会議について（報告）
（令和７年 10 月～令和８年２月分）

令和８年２月 28 日時点

	地区	開催日	種別※	テーマ	参加者	会議の概要
1	芝	10/17	地域課題型	カスハラを地域で連携し対応するための検討	高齢者支援課（高齢者相談支援係）、ケアマネジャー、訪問介護事業所、福祉用具サービス事業所、弁護士、センター職員	地区内で「カスハラ」と思われる対応に苦慮する支援者が多く見られている。精神的な負担を抱えながらも専門職としての責任を果たそうとしている支援者のために何ができるか検討した。支援者のねぎらいのためケース検討の場を設けること、カスハラの判断ができるよう、弁護士や医師も入るケース検討の場を設けることなどが挙がった。
2	芝	2/13	・地域課題型 ・地域連携型	地域包括ケアシステム構築に向けた芝地区の薬局や関係機関との連携	ケアマネジャー、薬局薬剤師、ラクっちゃ、虎ノ門いきいきプラザ、三田いきいきプラザ、港区在宅療養相談センター、センター職員	芝地区における地域包括ケアシステム構築において、認知症のある高齢者や関わりにくい高齢者について、日頃から関わりのある、いきいきプラザや薬局が感じた「変化の気づき」から支援に結び付けられる体制が必要。その前提に基づき、各機関の課題やそれに対する具体的な方策について検討した。
3	麻布	10/31	地域課題型	「ここにいたい」という利用者の「ここ」とは（オンライン開催）	区民課（保健福祉係）、ケアマネジャー、センター職員	支援者が高齢者からよく聞く「ここにいたい」「家にいたい」という意向をどのようにとらえて支援につなげていくべきか意見交換した。発言をそのまま受け取らずに、生活歴・判断能力・安全性を含め総合的なアセスメントが必要だが、そのためにもコミュニケーション方法や他者介入の工夫、日常的な支援者同士の情報共有・勉強会が必要である。

	地区	開催日	種別※	テーマ	参加者	会議の概要
4	麻布	11/18	個別課題解決型	過剰行動のある高齢者を地域で支援するには、どのようなかかわりが必要か	区民課（保健福祉係）、ケアマネジャー、訪問看護事業所、訪問介護事業所、福祉用具サービス事業所、薬局薬剤師、港区社会福祉協議会、後見人弁護士、センター職員	食べ過ぎ・買い過ぎなどの過剰行動のある対象者を事例に意見交換した。依存症と認知機能低下の境目、精神疾患かどうかが見極めにくい。引き続き、本人とのコミュニケーションを慎重に行い、多職種での見守りが必要とし、精神科受診に同行することで医学的見解を得ることを確認した。
5	麻布	11/29 芝浦港南と共催	地域連携型	地域における災害時の薬局の役割と地域連携の必要性について （オンライン開催）	薬局薬剤師、センター職員	災害時の薬剤師の動きについて確認したところ、大きな災害の経験者がいないことから、できること、できないことのイメージがつきづらい様子。災害時に適切な動きができるよう、改めて、高齢者相談センターやケアマネジャー、かかりつけ医等との連携、情報共有の大切さを確認した。
6	麻布	12/22	地域課題型	高齢者の住環境におけるネズミなど害虫獣対策と、介護保険をはじめとした各支援との連携について	麻布地区協働推進課長、区民課（保健福祉係）、保健福祉課（包括的支援推進担当係長）、高齢者支援課（高齢者相談支援課係）、みなと保健所、港区社会福祉協議会、ふれあい相談員、センター職員	高齢者の住環境におけるネズミなど害虫獣対策と、介護保険をはじめとした各支援との連携について、関係機関、職種で情報共有・ディスカッションを行った。ネズミ問題を根本的に解決するにはネズミを住みつかせない（餌になるものを置かない、家に入る隙間を塞ぐ等）対策が必要不可欠ということを支援者側が理解したうえで、チームで支援に当たることが重要だと共有した。

	地区	開催日	種別※	テーマ	参加者	会議の概要
7	麻布	1/15	・地域課題型 ・自立支援型	シルバー人材センターに登録している独居高齢者が安心した活動を続けるには	高齢者支援課（高齢者相談支援係、介護予防推進係）、港区社会福祉協議会、ラクっちゃ、南麻布いきいきプラザ、シルバー人材センター、シルバー人材センター登録者、センター職員	シルバー人材センター登録者同士の情報共有の課題や、登録者が活動日に来られない際の緊急連絡先など、日頃、活動するうえでの疑問点等を出し合い、内外部のつながりの重要性を共有した。
8	赤坂	11/21	地域課題型	高齢者の住居探しについて	高齢者支援課（高齢者相談支援係）、区民課（保健福祉係、生活福祉係）、住宅課（住宅政策担当）、港区社会福祉協議会、民生委員、ケアマネジャー、ふれあい相談員、センター職員	就労を続けられないことから家賃が払えなくなった場合、生活保護又は転宅が必要になるが、生活保護受給をしても区内に住居が見つからず、住み慣れた地域で継続して生活することが難しい状況がある。早めに都営住宅の申し込みをしてもらう、住宅政策の事業を活用するなどの対応をしていく。また、URや大家と連携ができるとよい。
9	高輪	12/12	・個別課題解決型 ・地域課題型 ・地域連携型	セルフネグレクトと向き合う～本人中心とした支援の在り方～	高齢者支援課（高齢者相談支援係）、区民課（保健福祉係）、協働推進課（協働推進係）、みなと保健所、民生委員、港区社会福祉協議会、ふれあい相談員、センター職員	セルフネグレクト状態にある本人に対し、信頼関係を重視した片づけ支援を関係機関が連携して継続している事例である。段階的な支援により環境改善は見られる一方、近隣対応や安全面、本人のペースを尊重した関わりが課題となっている。強制的対応は困難なため、引き続き情報共有と役割分担を行い、本人の将来を見据えた支援を進めるとともに、同様事例を港区全体の課題として検討していく方針となった。

	地区	開催日	種別※	テーマ	参加者	会議の概要
10	高輪	12/23	・個別課題解決型 ・地域課題型 ・地域連携型	地域住民の安否確認について～高齢者が安心して暮らすために～	高齢者支援課（高齢者相談支援係）、区民課（保健福祉係）、ケアマネジャー、訪問看護事業所、薬局薬剤師、港区社会福祉協議会、警察、ふれあい相談員、センター職員	新聞の滞留をきっかけに訪問を重ねたが、本人は関わりを拒否し、最終的に親族と警察の立ち会いで入室した際、逝去が確認された。過去にも同様の事例があり、類似事案が継続して発生している。 本会議では再発防止に向け、関係機関が情報共有と役割分担を行い、見守り体制の強化と地域連携による安否確認支援を進めていく方針となった。
11	高輪	1/28	自立支援型	「これからの認知症予防の取組について考えよう」	高齢者支援課（介護予防推進係）、ラクっちゃ、いきいきプラザ（白金、白金台、高輪、豊岡、神応）、センター職員	高輪地区における認知症予防の取組をテーマに、現状と課題を共有した。高齢者人口や要介護者の増加を背景に、通いの場としてのいきいきプラザの重要性が確認された。各館では体操や脳トレ、文化活動など多様な取組が行われているが、「認知症」を前面に出すと参加が集まりにくいという課題がある。今後は各館の特色を生かしつつ地区全体で連携し、早期からの関わりと通いの場の充実により、認知症予防を進めていく方針となった。
12	芝浦港南	11/29 麻布と共催	地域連携型	地域における災害時の薬局の役割と地域連携の必要性について （オンライン開催）	薬局薬剤師、センター職員	災害時の薬剤師の動きについて確認したところ、大きな災害の経験者がいないことから、できること、できないことのイメージがつきづらい様子。災害時に適切な動きができるよう、改めて、高齢者相談センターやケアマネジャー、かかりつけ医等との連携、情報共有の大切さを確認した。

	地区	開催日	種別※	テーマ	参加者	会議の概要
13	芝浦港南	12/16	自立支援型	転倒不安や骨折のリスクを軽減し、本人の望む生活を支えるための支援について	高齢者支援課（高齢者相談支援係、介護予防推進係）、港区社会福祉協議会、ラクっちゃ、港南いきいきプラザ、芝浦アイランド児童高齢者交流プラザ、台場高齢者在宅サービスセンター、ケアマネジャー、ふれあい相談員、センター職員	活動意欲はあっても、転倒の経験からくる不安、芝浦港南地区がもつ交通の便の課題もあり、いきいきプラザなどに通いにくい状況がある。在宅で可能な運動の提案や、ラクっちゃのオンライン教室の活用を促進するとともに、高齢者がそのような場に通いやすいようなハード面の改善も必要であることを確認した。
14	芝浦港南	1/22	地域課題型	台場地区在住高齢者の介護保険サービスの調整について	高齢者支援課（高齢者相談支援係）、区民課（保健福祉係）、ケアマネジャー、訪問看護事業所、訪問診療所、ふれあい相談員、センター職員	台場地区は介護保険サービス提供事業所が少なく、台場でのサービス提供をするには交通の便の課題と交通費の課題を考えなければならないため、それが可能な事業所は限られてしまう状況。緊急時の対応に遅れが出てしまうこと、コスト面を含めた台場地区への行きにくさからヘルパー等の確保が困難。交通の便の向上、台場地区への事業所誘致、台場地区でサービス提供する場合の加算を設定するなど、行政側へ対策を提案した。

※種別について

個別課題解決型…個別ケースを議題とし、ケアマネジャーのスキルアップ・支援を目的として、個別課題の解決に向けた会議運営を行います。

地域課題型及び地域連携型…個別ケースの課題分析等をもとに地域の実情や課題等について、地域の関係者などと議論します。

自立支援型…できる限り在宅で自立した日常生活を継続できるよう支援することを目的として、自立支援に向けた会議運営を行います。

※令和８年３月開催予定

芝地区　　３月９日　個別課題解決型

芝地区　　３月 23 日　個別課題解決型、自立支援型

麻布地区　３月 11 日　地域連携型

赤坂地区　３月 24 日　自立支援型